



## Takeda Information

### 2020 年度第 3 四半期決算にかかる FAQ について

グローバルファイナンス IR

2021 年 2 月 19 日

2021 年 2 月 4 日に公表した 2020 年度第 3 四半期決算に関して、よくいただく質問について以下にお示しします。

#### Q1. コンセンサス予想：2020 年度第 3 四半期（2020 年 10～12 月）のコンセンサス予想はいくらであったか？

A1. 証券会社に所属するアナリスト 9 名<sup>1</sup>の予想に基づき、2020 年度第 3 四半期（2020 年 10～12 月）決算に関する最新のコンセンサス予想を作成しました：

- 売上収益予想平均は 8,321 億円
- Core 営業利益予想平均は 2,653 億円
- Core EPS（Core Earnings Per Share）予想平均は 116 円
- 財務ベース営業利益予想平均は 1,249 億円

当社の 2020 年度第 3 四半期の売上収益実績は 8,368 億円、Core 営業利益実績は 2,731 億円、Core EPS 実績は 111 円、財務ベース営業利益実績は 1,431 億円でした。

#### Q2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響：COVID-19 による 2020 年度第 3 四半期業績への影響は？

A2. COVID-19 の世界的な流行拡大に伴う、2020 年度第 3 四半期の連結業績への影響は複数の要因が相殺し合い軽微でした。ニューロサイエンス（神経精神疾患）といった一部の疾患領域において、外出制限期間中に患者さんの医療機関訪問の頻度が減少する等のマイナス影響が見られました。この動向は、特に最近の数ヶ月、世界各所で著しい COVID-19 の流行拡大が起きていることもあり、当期を通じて変動してきました。これらのマイナス影響は、服薬利便性の高い特定の製品の需要拡大が流行拡大の初期に見られる等、処方動向によるプラス影響により一部相殺さ

<sup>1</sup>BofA 証券、シティグループ証券、Cowen、ゴールドマン・サックス証券、ジェフリーズ証券、J.P.モルガン証券、みずほ証券、モルガン・スタンレーMUFJ 証券、および野村証券

れております。営業経費については、渡航制限や集会の自粛等、特定の事業活動を自主的に制限したことにより経費使用が減少しました。これらの結果、当社利益に対する影響は軽微でした。

しかしながら、COVID-19 を取り巻く状況は引き続き非常に流動的であり、新規または追加的な流行拡大や、主要市場におけるロックダウンや屋内退避命令の新規の措置や延長、その他政府による対策など、2020 年度中の進展によっては、当社製品の需要減少やサプライチェーンに関連する問題の発生、または臨床試験の大幅な遅延など当社事業に深刻な影響を与える可能性があります。このような事態が生じた場合、当社事業や経営成績、財政状態に追加的な影響が及び、また、当社の 2020 年度業績は予想から大きく乖離する可能性があります。

COVID-19 拡大による影響および当社の取り組みの詳細については、東京証券取引所に提出した[決算短信](#)の概要 13～15 ページをご参照ください。

### **Q3. COVID-19 の影響 : COVID-19 の流行拡大は 2020 年度以降の血漿量目標/血漿収集に影響するのか?**

A3. 血漿分画製剤の業界全体に見られた傾向と同様に、当社では 2020 年の春に血漿収集量の減少が確認されました。血漿収集量は第 2 四半期は第 1 四半期よりも回復し、第 3 四半期は第 2 四半期よりも再び増加しています。リスク軽減計画および血漿収集の増加に向けた大規模な投資により、2024 年までに血漿収集量を 65%増加（2018 年を基準として）するという目標に対して、計画通り進捗しています。

当社は 2020 年度末までの供給目標の達成を見込み、免疫グロブリンポートフォリオの売上高は対前年同期比で 2 桁成長となる見込みです。また、2021 年の免疫グロブリンの供給量について断定的なことは申し上げられませんが、新たな長期的な目標に対して慎重に取り組んでおり、当社は 2021 年の免疫グロブリンの総供給量がさらに伸長することを期待しています。

### **Q4. 第 3 四半期累計の進捗率 : Core 営業利益について、第 3 四半期累計の進捗率は 79%と順調であった。2020 年度第 4 四半期に悪化すると見込んでいる理由は?**

A4. 当社の Core 営業利益は四半期ごとに変動があり、過去 5 年間で第 4 四半期（1～3 月）は他の四半期と比較すると Core 営業利益が低い傾向があります。四半期ごとの業績変動は、シャイアー社買収後に小さくなってはおりますが、2020 年度もこの傾向は継続すると考えており、79%の進捗率は当社の想定通りです。

### **Q5. 2020 年度ガイダンス : 2020 年度の実質的な Core EPS ガイダンスは「10%台前半の成長」だが、2020 年度第 3 四半期累計の成長率は+4.5%であった。2020 年度ガイダンスの達成は可能か?**

A5. 税金費用の期ずれにより 2019 年度第 4 四半期の税率が高かったこと（実質的な Core EPS 水準が低下）を踏まえ、2020 年度第 4 四半期には実質的な Core EPS の成長がさらに加速する見込みです。

**Q6. 財務ベース税率：2020 年度の通期予想では、税引前利益は維持していますが、当期利益は上方修正しています。**

**財務ベース税率が前回予想と比較して改善した理由は？**

A6. 2020 年度通期の財務ベース当期利益を改善した理由は主に、現在進行している当社組織体制における統合や最適化に関連する税金費用が減少することを反映し、前提税率を見直したことによります。

**Q7. 2021 年度ガイダンス：2021 年度ガイダンスを予想する際にどのような要因に気を付けるべきか？**

A7. 2021 年度ガイダンスは、2021 年 5 月 11 日に予定している 2020 年度第 4 四半期（通期）決算で公表予定です。当社はグローバルブランド 14 製品の成長、EOHILIA を中心とした新製品の上市、および研究開発、中国市場、血漿分画製剤（PDT）事業への投資を進めるといった経営戦略を引き続き遂行していきます。2021 年度はコストシナジーおよび規律ある営業経費の使用により、実質的な Core 営業利益率の改善を推進していきたいと考えています。2021 年度業績を予想するために留意すべき要因としては、売却事業等から発生していた売上収益約 14 億米ドルを 2021 年度に計上することはありません。

**Q8. アルブミン実績：2020 年度第 3 四半期累計のアルブミン売上高は対前年同期△10%減少だがその理由は？アルブミンの通期予想をなぜ下方修正（現在は 0～△10%）したのか？**

A8. 中国における期ずれおよび 2019 年の供給変動および 2020 年度下期における Albumin Glass バッチの一時的な出荷中断が影響し、アルブミンの第 3 四半期累計売上高は対前年同期△10%でした。中国における Albumin Glass バッチの一時的な出荷中断はまもなく解決する予定です。当社は、中国のアルブミン市場の動向を継続的に注視し、中期で力強い需要成長が継続すると考えていますが、第 3 四半期の売上高が減少した影響と、2020 年度第 4 四半期の売上高にも一部影響する可能性があることを考慮し、2020 年度通期のアルブミン売上成長率は対前年で減少すると見込んでいます。

**Q9. 中国における ALBUMIN GLASS：出荷中断は血漿分画製剤の長期ガイダンスに影響するか？長期的な目標を達成できると引き続き見込んでいるか？**

A9. 中国における Albumin Glass の売上高減少は、血漿分画製剤全体の実績に影響するほどの問題ではなく、他の地域における Albumin Glass の強い実績やその他の血漿分画製剤の製品により大部分が相殺されています。血漿分画製剤事業全体では、パンデミックが発生後も計画通り事業が進捗しており、長期的な血漿分画製剤事業の成長に対する想定に変更はありません。実際、パンデミック時における血漿提供への影響を考慮しても、2020 年度の実績は引き続き堅調に推移しています。

Flexbumin は引き続き 2 桁の売上成長を見込んでおり、当社の免疫グロブリンポートフォリオは市場成長よりも大幅に伸長しています（2020 年度第 3 四半期では対前年同期+13%、第 3 四半期累計では対前年同期+14%）。このことは、血漿収集や製造能力、事業全体の変革に対する当社の多大な投資が順調に進んでいることを示す明確な指標となります。

**Q10. COVID-19 に対する研究開発の取り組み：COVID-19 に対してどのような研究開発活動を行っているか？**

A10. 当社は、多様な活動および提携を通じ、様々な治療法やワクチンの開発を進めることに焦点をあて、包括的に COVID-19 を治療および予防するアプローチをとっています。

- **ワクチン：** 当社は、日本政府、Novavax 社および Moderna 社と提携し、国内における COVID-19 ワクチンの普及を加速するための支援を行っています。当社は、国内における既存のインフルエンザ流行対策に加えて、Novavax 社および Moderna 社からのワクチンに関して、広範で確立されたグローバルな製造・供給体制を活用しています。本邦における臨床試験の開発スケジュールについては、Moderna 社から導入した TAK-919 の臨床第 1/2 相試験を 2021 年 1 月 21 日に開始し、Novavax 社から導入した TAK-019 の臨床第 1/2 相試験を 2021 年 2 月末までに開始する予定となっています。
- **高度免疫グロブリン：** 当社は「CoVIg-19 Plasma Alliance」を共同設立し、COVID-19 とのグローバルな闘いのために高度免疫グロブリン製剤の開発・製造を他の主要な血漿分画製剤の会社と共同で実施しており、現在、グローバル臨床第 3 相試験で評価中です。本提携は、「The Fight Is In Us」キャンペーンおよび関連する回復期の血漿提供キャンペーンにも参加しています。
- **既存治療薬のリポジショニング：** 当社は、FIRAZYR (icatibant) や lanadelumab を含む既存の治療薬および他の開発品について、COVID-19 を引き起こすウイルスに対する有効性を評価しています。当社は、「COVID R&D Alliance」、「the IMI Care Alliance」および「the Accelerating COVID-19 Therapeutic Interventions and Vaccines (ACTIV)」パートナーシップに参加しています。

詳細については、[2020 年度第 3 四半期プレゼンテーション資料](#)の 6 ページをご参照ください。

<武田薬品について>

武田薬品工業株式会社 (TSE : 4502/NYSE:TAK) は、日本に本社を置き、自らの経営の基本精神に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー (価値観) を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。武田薬品のミッションは、優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献することです。研究開発においては、オンコロジー (がん)、希少疾患、ニューロサイエンス (神経精神疾患) および消化器系疾患の 4 つの疾患領域に重点的に取り組むとともに、血漿分画製剤およびワクチンにも注力しています。武田薬品は、研究開発能力の強化ならびにパートナーシップを推し進め、強固かつ多様なモダリティ (創薬手法) のパイプラインを構築することにより、革新的な医薬品を開発し、人々の人生を豊かにする新たな治療選択肢をお届けします。武田薬品は、約 80 カ国で、医療関係者の皆さんとともに、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。

詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

---

<投資家関係問い合わせ先>

武田薬品工業（株）

グローバルファイナンス IR

クリストファー・オライリー

Tel: 03-3278-2543

Email: [takeda.ir.contact@takeda.com](mailto:takeda.ir.contact@takeda.com)

<報道関係問い合わせ先>

武田薬品工業（株）

CCPA コーポレート・コミュニケーション

小林 一三

Tel: 03-3278-2095

Email: [kazumi.kobayashi@takeda.com](mailto:kazumi.kobayashi@takeda.com)

## 留意事項

本留意事項において、「本書類」とは、本書類（添付資料及び補足資料を含みます。）において武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本書類（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます。）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本書類により株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本書類は、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本資料において、「武田薬品」という用語は、武田薬品およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we, us および our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

## 将来に関する見通し情報

本書類及び本書類に関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「することができた (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の業績は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の業績とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規の変更、製品開発計画の成功又は失敗、規制当局による判断とその時期、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念等、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危

機が、当社が事業を行う国の政府を含む当社とその顧客及び供給業者に及ぼす影響、買収対象企業との PMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとってのノン・コア資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社のウェブサイト(<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/>)又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本書類に含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本書類における武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果又はその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

### **国際会計基準に準拠しない財務指標**

本書類には、実質的な売上収益、Core 営業利益、実質的な Core 営業利益、Core 純利益、実質的な Core EPS、有利子純負債、EBITDA、調整後 EBITDA、フリーキャッシュフローのように、IFRS に準拠しない財務指標が含まれています。当社役員は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS 及び本書類に含まれる IFRS 以外の指標に基づき行っています。IFRS に準拠しない財務指標においては、最も近い IFRS 財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRS に準拠しない財務指標を提供することで、当社役員は、投資家の皆様に対し、当社の経営状況、主要な業績及び動向の更なる分析のための付加的な情報を提供したいと考えております。IFRS に準拠しない財務指標は、IFRS に準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRS に準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRS に準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRS に準拠しない財務指標につき、これらに最も良く対応する IFRS 準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

当社の IFRS に準拠しない財務指標のさらなる詳細については当社のホームページをご参照下さい。

<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/quarterly-announcements/>

財務ベース売上収益から実質的な売上収益の成長への IFRS に準ずる調整は 2020 年度第 3 四半期決算プレゼンテーションの参考資料をご参照ください。

### **医療情報**

本書類には、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。